

通 信

沖縄生物学会 第60回大会のお知らせ

沖縄生物学会の第60回大会を下記の要領で開催いたします。新型コロナ（COVID-19）感染拡大防止に伴う国、県、ないし大学からのイベント開催に関する活動規制がなされない限り、原則、対面形式の開催とします。ただし新型コロナに関する国内外の情勢により、オンライン形式に変更する可能性もありますので、適宜、学会ホームページをご確認くださいませようお願いいたします。

コロナ禍以前の対面形式での大会と同様に、一般講演、ポスター発表、池原記念賞受賞講演、公開シンポジウムを予定しています。小・中・高校生によるポスター発表に関しては高校生以下の参加費は免除としますのでふるってご参加ください。なお、引率者については、小・中学生の場合には参加費は免除、高校生の場合には一般の方と同様に参加費が必要となりますのでご了承ください。懇親会については、大会前の新型コロナの情勢をみて開催の有無を決定します。学会ホームページおよび次号「通信」などでお知らせする予定です。

第60回大会：国立大学法人琉球大学 理系複合棟

日時：2023年5月20日（土曜日）

大会参加費：1,500円（学生1,000円、小・中・高校生免除）

◆ 発表申し込み

沖縄生物学会大会で発表を希望される方は、口頭発表、ポスター発表の別を明記のうえ、**講演要旨を以下の要領でまとめ、2023年4月7日(金)(必着)までに**、原則として、電子メール(okinawaseibutu60th@gmail.com)にてお送り下さい。その際、1つのメールで複数の発表を申し込まないようにしてください。また、同一研究室からの口頭発表の申し込みは原則として1題とし、残りはポスター発表としてください。申し込み人数によって発表形式の変更をお願いする場合があります。お申し込みの受付後、大会準備委員会から受領確認メールを3日以内に送信しますので、必ずご確認いただけますようお願いいたします。

大会での発表は、小・中・高校生によるポスター発表を除き、発表者もしくは共同発表者に少なくとも一人の会員が含まれていることを条件とします。会員の皆様の日頃の研究成果を発表する場として積極的にご参加ください。口頭発表はパワーポイント(pptxもしくはpptファイル)によるデジタルプロジェクター(HDMIもしくはVGA接続)使用での発表とします。準備委員会の方でOSがWin10かMacintosh OSXのノートパソコンを準備いたしますが、ソフト等の不都合が起こることが懸念されますので、可能な限り、御自身のパソコンをご持参下さい。それ以外の設備を必要とする方は、予めお問い合わせ下さい。一般講演の講演時間は、

質疑を含め 15 分(講演 12 分、質疑 3 分)です。ポスターは 172.0 cm (縦) × 82.0 cm (横)に収まるようにしてください。

◆ 講演要旨の作成要領と提出方法

講演要旨原稿ファイルは以下の要領で作成し、**PDF 形式に変換したファイルのみを受け付けることと致します**。提出方法については、講演申し込み者へメール等でお知らせする予定です。要旨ファイル提出の際には、ファイル名を「**発表者氏名**」として下さい。フォントは MS 明朝体 11 ポイントとし、英文の場合は Times New Roman とします。その他、句読点等の書式は**沖縄生物学会誌投稿規定 (<http://www.okibio.jp/publish/02.html>)** をご参照ください。演題、発表者、本文を含めて **800 文字以内**とします。図表は要旨の中には入れないで下さい。要旨作成例を下記に記載しておりますので、必ずご確認下さい。なお、沖縄生物学会誌への講演要旨の掲載を行わないことをあらかじめご承知おきください。

講演要旨提出の締め切り：2022 年 4 月 7 日（金）17：00

締め切り後の講演要旨の受付は一切いたしません。また、要旨の体裁を含む修正・差し替え等についても対応いたしかねます。事前に要旨 PDF ファイルをご自身で十分ご確認の上、提出するようにしてください。締め切り厳守にてお願いいたします。

◆ 要旨作成例

潮下帯砂泥底に生息する穴居性甲殻類

○成瀬貫 (琉球大・熱生研・西表)・吉田隆太 (お茶ノ水大・湾岸生物教育セ)

潮下帯の砂泥からなる海底には、無数の穴が散在していることがよくある。これらの穴は様々な生物の活動により形成されている場合がほとんどと考えられる。しかしそれらの穴の

タイトル (太字)、発表者、所属は MS ゴシック 11 pt

所属は短縮

発表者に○

本文は MS 明朝 11 pt、段落は複数可。句読点は、. を使用。

◆ シンポジウム

公開シンポジウムのテーマに関しましてご意見・ご提案を受け付けます。2023 年 1 月末までに電子メール(okinawaseibutu60th@gmail.com)でご連絡ください。過去のシンポジウムについては学会ホームページ(<http://www.okibio.jp/active/index1.html>)に記載がありますので参照してください。シンポジウムのテーマは、最終的には学会事務局と沖縄生物学会第 60 回大会実行委員会で決定し、次回の通信でお知らせする予定です。

国立自然史博物館誘致の現状報告

本年は沖縄が本土復帰して50年の節目となります。県内外での機運を高めることを目的とし、国立沖縄自然史博物館誘致に関わる様々な取組が、復帰50周年記念事業の一環として沖縄県主催で行われております。これから行われるイベント等もごございますので、会員の皆様におかれましては是非ご参加頂きますようお願いいたします。

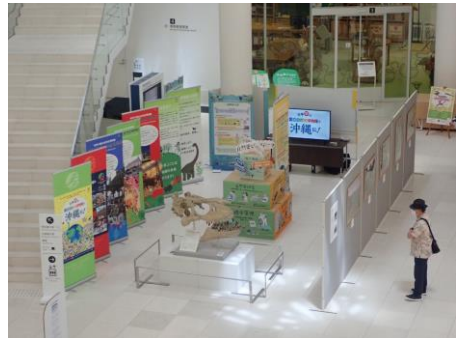
復帰50周年記念事業 令和4年度国立自然史博物館誘致シンポジウム関連

1. 日本初の国立自然史博物館を沖縄に！「国立自然史博物館と沖縄の未来」(終了)
 - ① 会場: 那覇文化芸術劇場なはーと
 - ② 日時: 2022年11月30日(水) 13:30~16:30
 - ③ 内容: 基調講演、パネルディスカッション
2. 沖縄の博士ちゃんと博士が語り合う日本初の国立自然史博物館を沖縄に！(終了)
 - ① 会場: 沖縄こどもの国 チルドレンズセンター2Fホール
 - ② 日時: 2022年11月12日(土) 13:00~15:00
 - ③ 内容: 基調講演、パネルディスカッション、博士ちゃんの発表



復帰50周年記念事業 令和4年度国立自然史博物館誘致企画展

1. 本島北部展(常設展)(開催中)
 - ① 会場: 沖縄美ら海水族館1階出口(琉球弧の水辺コーナー横)及び美ら海プラザ
 - ② 期間: 2022年6月2日(木)~2023年3月12日(日)
 - ③ 内容: パネル展示、オブジェ、恐竜ボード「フクイラプトル」、みんなの進化展コーナー、「湊和雄写真展」など
2. 本島南部展(常設展)(開催中)
 - ① 会場: 沖縄県立博物館・美術館1F 企画展示コーナー
 - ② 期間: 2022年6月21日(火)~2023年3月12日(日)
 - ③ 内容: タペストリー展示
3. 本島中部展(終了)
 - ① 会場: 中城村役場1Fロビー
 - ② 期間: 2022年9月15日(木)~10月19日(水)
 - ③ 内容: パネル展示、「湊和雄写真展」
4. 八重山展
 - ① 会場と期間: 石垣港離島ターミナル[2023年1月6日(金)~2023年1月20日(金)]および石垣市役所ロビー[2023年1月21日(土)~2023年2月5日(日)]
 - ② 内容: パネル展示など(調整中)
5. 宮古展
 - ① 会場と期間: 宮古島市役所エントランスホール[2023年2月11日(土)~2023年3月10日(金)]および離島ターミナル棧橋(調整中)
 - ② 内容: パネル展示など(調整中)
6. 東京会場(終了)
 - ① 会場: Sustaina Station DaiDai(東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビルB1F)
 - ② 期間: 2022年10月12日(水)~2022年11月12日(土)
 - ③ 内容: パネル展示など



沖縄生物学会第 59 回大会・総会報告

沖縄生物学会第 59 回大会が、2022 年 5 月 28 日（土）にオンライン大会として開催されました。大会実行委員長は琉球大学理学部生物系の中村崇幹事が務めました。オンライン形式ということもあり、通常の演題は口頭発表のみでした。演題の総数は 35 件、110 余名の参加があり、オンラインの 2 会場を設けての開催でした。大会開催側も参加者側もオンライン形式に慣れてきたこともあって、各講演者による資料の提示（画面共有）なども特にトラブルはなく、全体にわたりほぼ円滑に発表と質疑が行われました。最後の演題の終了時刻である 16:25 まで、様々な分野にわたる研究成果の発表が続き、活発な質疑がなされました。

同日 13:00 から、オンライン会場の 1 つを使って、第 13 回池原貞雄記念賞（2021 年度）の授賞式が行われました。受賞者は水谷晃氏、研究奨励部門での受賞でした。まず動画を使って賞状とたての授与の様子が伝えられ、続いて「人の暮らしと生物の応答：海鳥、カンムリワシ、海草とアオウミガメを例に」との表題で、水谷氏による授賞記念講演があり、それを受けて多くの質問やコメントなどが出されました。その結果、地域に根ざした同氏の研究の功績が改めて認識されるとともに、生物をとりまく諸問題について議論がなされました。

次いで 13:50 からは同じオンライン会場を使って本学会の総会が開かれました。伊澤雅子会長による挨拶のあと、議長団として、琉球大学熱帯生物圏研究センターの山城秀之氏と沖縄大学の山田文雄氏が選出され、議事が進行されました。報告事項として、戸田守代表幹事から 2021 年度事業について、従来通り 2 通の通信の発行と、同日の第 59 回大会の開催が報告されました。次に、藤田喜久編集幹事から、沖縄生物学会誌 59 号の発刊報告がありました。その後、池原貞雄記念賞選考委員会の当山昌直委員長より、第 13 回池原貞雄記念賞の選考について、推薦をもとに規定に沿った選考を行った結果、Island Ecosystem Research の水谷晃氏を受賞者として決定したことが報告されました。なお、その選考に先立ち、評議員会の議を経て、任期満了に伴う池原貞雄記念賞選考委員の改選があったことも報告されました。同じく報告事項として、竹村明洋自然史博物館設立準備委員長から、国立自然史博物館誘致シンポジウム「日本初の国立自然史博物館を沖縄に！国立博物館と沖縄の未来」および「エコライフ&ネイチャーフェア記念」シンポジウムが、それぞれ夏季～秋季にかけて、沖縄県復帰 50 周年記念事業の一貫として開催予定であること、そのほかにも、本島北部、同南部、宮古地域、八重山地域でミニシンポジウムおよび関連する展示が決定していることが報告されました。報告事項の最後の項目として、戸田守代表幹事から、三学会合同緊急シンポジウム「沖縄島と座間味島における特定外来生物グリーンアノールの現状を考える」の、6 月のオンライン開催が決定したことが報告されました。

審議事項では、まず戸田守代表幹事から 2022 年度事業計画として、年次大会の開催と会誌の発行、二度の通信の発行が提案され、いずれも承認されました。会誌については、2022 年度中に 2 つの号を発行する変則的な計画が示され、過年度からの発行の遅れを元に戻す意図があるとの説明がありました。次いで任期満了に伴う役員改選について評議員会で話し合われた案が示され、承認されました。これにより、副会長 1 名、監査員 3 名、評議員 7 名が新たに役員となることになりました。続いて、九州沖縄植物学会の世話役でもある傳田哲幹事から、2 年後の 2024 年には三学会合同大会が沖縄で行われる予定であることが説明され、この年は、沖縄生物学会の年次大会も合わせて、四学会合同大会としたい旨の提案があり、承認されました。少し先のことながら、早めに準備を開始する必要があるとの理由による提案でした。次いで傳田哲郎会計幹事から 2021 年度決算報告、富永篤監査員から同監査報告があり、それらが承認されたあと、再び傳田哲郎会計幹事から 2022 年度予算案が提示され、承認されました。最後に当山副会長から閉会の挨拶があり、総会を終了しました。

第14回 沖縄生物学会池原貞雄記念賞候補者の募集

第14回沖縄生物学会池原貞雄記念賞の候補者を募集します。規約にあるとおり、本賞は沖縄の生物の研究・教育・環境保護の各分野で活躍している会員または団体、および将来の成果が期待される若手会員に対して贈られるものです。会員の皆様からの積極的な他薦または自薦をお願いします。参考までに、池原貞雄記念賞表彰規約は学会HPを確認ください。受賞者の決定は選考委員会で行われ、沖縄生物学会大会開催時に授賞式を行います。

池原貞雄記念賞候補者推薦要領

1 推薦方法

別紙様式の表彰候補者推薦書（様式1）、推薦理由書（様式2）、履歴書（様式3、個人推薦の場合のみ）、団体の概要（様式4、団体推薦の場合のみ）各2部を添えて、沖縄生物学会池原貞雄記念賞事務局あて郵送にて提出する。もしくは、下記のメールアドレスに各様式を添付ファイルとして送信する（件名には必ず「池原貞雄記念賞推薦」と記入する）。

2 推薦人員

(1)各会員が推薦できる人数は、一部門の1名または1団体とする。

3 候補者の例示

- (1) 表彰規約3の2の(1)は若手研究者を優先とする。
- (2) 表彰規約3の2の(1)でいう表彰の対象者とは、例えば以下に該当するものをいう。
 - ア) 沖縄の生物に関する論文、講演などの実績があるもの。
- (3) 表彰規約3の2の(2)でいう長年とはおおむね10年以上とする。
- (4) 表彰規約3の2の(2)でいう表彰の対象者とは、例えば以下に該当するものをいう。
 - ア) 沖縄の生物・環境に関する教育・普及啓発活動に実績があるもの。
- (5) 表彰規約3の2の(3)でいう表彰の対象者とは、例えば以下に該当するものをいう。
 - ア) 沖縄の自然環境の保全に関する活動実績(書籍、事業、イベントなど)があるもの。

4 候補の対象としない者

(1) 過去に当記念賞を受賞した者。

5 応募方法

- (1) 沖縄生物学会通信および学会ウェブサイトにて公募する。様式はウェブサイトからダウンロードできる。
- (2) 表彰規約3の2の(1)でいう研究部門については、代表的な論文5編以内（コピー可）を添付すること。
- (3) 応募締切は2023年1月末日（当日消印有効）とする。
- (4) 応募書類の送付先
〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1 琉球大学理学部海洋自然科学科内
沖縄生物学会池原貞雄記念賞事務局 宛、E-mail: okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp

6 留意事項

受賞者には自らの研究または活動の概要を受賞講演として沖縄生物学会大会で紹介していただきます。

問い合わせ：

本件につきましては、学会事務局へメール（okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp）にてお願いします。

令和4年度 沖縄生物学会 第1回評議員会報告

沖縄生物学会評議員会が2022年11月22日（火）の18:45から開催されました。沖縄県内での新型コロナウイルス（COVID-19）感染状況の推移や評議員の参加しやすさなどを考慮し、琉球大学理学部の528室を会場としながらも、会長・副会長および多くの評議員がオンラインで参加するハイブリッド方式の評議員会となりました。参加者16名でした（幹事含む）。

【審議事項】

1. 沖縄生物学会第60回大会の開催について

2023年度の年次大会である第60回大会の開催日時・会場・実施形式等についての議論がなされました。複数年に及んだ新型コロナウイルスによる緊急事態が解除され、多くの学会でも対面での大会開催が進んでいる状況を鑑み、第60回大会は基本対面開催とする案が示され、議論を経て承認されました。開催日は2023年5月20日（土）とし、大会実行委員長を琉球大学理学部の竹村明洋教授として開催の準備を進めていくことが承認されました（詳細は、本通信1-2ページをご覧ください）。琉球大学に実行委員会を置き、竹村実行委員長の指揮のもと、琉球大学理学部理系複合棟1階および2階を会場とした開催準備を進めることとなります。口頭発表は2会場を想定しつつ、ポスター発表形式、シンポジウムなどの詳細は実行委員会で検討していくことになりました。

2. 第14回池原貞雄記念賞の募集について

第14回池原貞雄記念賞の募集について、通信（本通信）と学会ホームページで情報発信し、例年と同じく1月末日を締め切りとするという提案がなされ、承認されました。加えて、評議員やその周囲でも、自薦他薦を問わず積極的に推薦を働きかけていくことが望ましいという確認がなされました。特に団体の場合は、被推薦者は会員に限らないことも強調されました（推薦基準や手続きについては本通信および学会ホームページをご覧ください）。

3. 会則の修正について

2022年の第59回大会の総会の際、会員から現行の会則の誤記（誤字）の指摘および会則と附則との矛盾（会費未納による除籍年限のくい違い）について指摘があったことから、これらの問題を解消すべく、会則の修正および改訂内容が説明されました。対応として、1) 該当する附則文の削除、2) 該当条項である第25条2項を、「3年分滞納したものは、直ちに会誌の発行を停止する。その後、会費の納入が無い場合は退会扱いとすることがある。」に修正する、ことが承認されました。

4. 通信111号（本通信）の内容について

次回大会の案内を中心に内容を議論し、その項目立てと主な内容が承認されました。

5. 入会申し込み方法について

HPの入会申し込みの方法については、「会計担当宛てにFaxか郵便で」送付となっておりますが、メールでの受付も行えるよう、HP案内文について「メール、Faxまたは郵便」に修正する旨が説明され、承認されました。

【報告事項】

報告事項として、1) 国立自然史博物館設立に向けた最近の取り組み（シンポジウム開催等）、2) 本学会メーリングリスト投稿に関する周知・利用促進、3) 次号学会誌の編集の進捗、4) 評議員任期の確認および一身上の都合による幹事1名の辞任について、の4つの項目に関し、それぞれ戸田代表幹事あるいは担当幹事から報告ないし連絡がありました。

沖縄生物学会 役員一覧表

沖縄生物学会の会長、副会長、監査員および評議員は下記のとおりです(2022年12月時点)。任期は2年間で、2024年5月の総会までです。

会長 伊澤 雅子(北九州市立自然史・歴史博物館)
副会長 佐々木 健志(琉球大学) 豊島 正憲(沖縄生物教育研究会)

監査員 菊川 章(沖縄県立博物館・美術館) 比嘉 俊(琉球大学)
今井 秀行(琉球大学)

評議員

大学関係 坂下 光洋(名桜大学) 照屋 建太(沖縄キリスト教学院大学)

研究機関 米倉 浩司(沖縄美ら島財団) 糸 正幸((株)イーエーシー)
宮本 真琴((一財)沖縄県環境科学センター)

行政機関 新城 憲一(沖縄県教育庁文化財課)

高校関係 大城 直輝(豊見城高校) 島袋 陽(辺土名高校)
知念 美香(那覇高校)

中学校関係 平良 正哉(大里北小学校)

その他 当山 昌直(沖縄大学地域研究所)

池原貞雄記念賞選考委員会委員長 佐々木 健志(琉球大学)

自然史博物館設立要請委員会委員長 竹村 明洋(琉球大学)

庶務幹事 戸田 守(代表幹事:琉球大学) 中村 崇(琉球大学)
竹村 明洋(琉球大学) 山川(矢敷) 彩子(沖縄国際大学)
江藤 毅(琉球大学)

会計幹事 傳田 哲郎(琉球大学) 小林 峻(琉球大学)

編集幹事 藤田 喜久(沖縄県立芸術大学) 城ヶ原 貴通(沖縄大学)

編集委員 佐々木 健志(琉球大学) 太田 英利(兵庫県立大学)

前田 健(沖縄科学技術大学院大学) 傳田 哲郎(琉球大学)

会員の方々からも沖縄生物学会への思い、ご意見、活動、紹介したい内容などがございましたら、事務局にお知らせいただくか、学会のホームページにお寄せ下さい。電子メールは、okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp です。

沖縄県生物学会賛助会員

本学会にご協力いただいている賛助会員は下記の通りです。

株式会社 猪原商会 沖縄営業所 所長 小林宏行
〒900-0033 那覇市久米1丁目7番10号 (098) 868-6373

株式会社 イーエーシー 代表取締役 大石正明
〒901-2127 浦添市屋富祖3丁目34番17号 (098) 942-0085

沖縄環境調査株式会社 代表取締役 中村栄秀
〒900-0003 沖縄県那覇市安謝2丁目6番19号 (098) 861-7373

原稿募集のお知らせ

沖縄生物学会誌では、随時原稿を募集しています。投稿を希望される方は、投稿規定に沿って原稿（原則として電子ファイルのみを受け付けます）を準備いただき、投稿専用アドレス（journal@okibio.jp）までお送りください。

沖縄生物学会誌は、年1回発行されており、毎年3月末に発行される予定となっています。投稿された論文原稿の審査（査読）は、早くも二週間、通常は二ヶ月程度要しています。また、受理された原稿の編集・校正・印刷業者業者との調整などを考慮し、例年、1月末までに受理された原稿を同年3月に発行される号に掲載することになっています。

これらの発行スケジュールをご理解の上、ご投稿をお願いします。皆様の積極的な投稿をお待ちしております。

なお、投稿に関するお問い合わせについては、編集幹事の藤田喜久（journal@okibio.jp）までお寄せ下さい。

原稿送付先：journal@okibio.jp（沖縄生物学会誌 編集幹事）

沖縄生物学会

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地
琉球大学理学部海洋自然科学科生物系内
生物系事務室 TEL：(098) 895-8577
庶務幹事 中村 崇 (098) 895-8897
FAX：(098)895-8576, okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp
振替口座（郵便）：02030-8-30433 沖縄生物学会